

高浜再稼働に県議会同意

市民団体「納得できない」



高浜原発3、4号機の再稼働を求める決議を起立採決した県議会。福井市大手3丁目

県議会は定例会最終日の17日、自民党県政会が提出した関西電力高浜原発3、4号機の「再稼働をする必要がある」とする決議案を賛成多数で可決、再稼働に同意した。民主・みらいが提案した「再稼働を判断できる状況にない」とする決議案は否決された。残る地元同意の手続きは西川一誠知事の判断だけとなった。

自民党県政会の決議案は、エネルギー安全保障や地球温暖化対策などを理由に「再稼働する必要がある」とし、国などに①原発の重要性和核燃料サイクルの意義について国民理解を得る取り組みを続ける②原発の安全性向上で不断の努力③原子力災害時の国と関係自治体との連携強化④使用済み核燃料の再処理体制と高レベル放射性廃棄物の最終処分を求めた。

「と述べた。近く林幹雄経済産業相と面会し、安倍晋三首相のエネルギー政策に関する考え方を確認した上で同意判断する。

一方、県議会の傍聴席では、再稼働に反対する市民らが審議を見守った。自民党県政会の決議案が可決されると「原発再稼働ストッ

プ」と書いたプラカードを議場に向けて抗議した。「サヨナラ原発福井ネットワーク」のメンバーで大

飯原発3、4号機運転差し止め訴訟原告の若泉政人さん(48)は「地域防災計画も検証が不十分で、住民理解も進まないまま国に責任を預けた判断」

と批判。若狭町を中心に脱原発活動をする市民団体「安全なふる里を大切にする会」の石地優代表(62)も「納得できない」と反発し、「避難計画の町民説明会の開催を求め、地元議会へ働きかけるなど声を上げ続けたい」と話した。

(堀川敏部、山本潤子)

共産党県議団の佐藤正雄議員、無所属の細川かをり議員が反対討論に立ち、公明党の西本恵一議員、青藍会の西本正俊議員、希望ふくいの井ノ部航太議員が賛成の立場で討論。28対7の賛成多数で可決された。

閉会后、西川知事は報道陣の取材に「十分議論して再稼働を進める方針を出されたので、県原子力安全専門委員会の最終意見や国の意思確認などの後、判断す